

群馬県立歴史博物館年報

第 43 号

令和 3 年度版

群馬県立歴史博物館

目 次

I	事業の概要	1
1	展示活動	1
2	教育普及	14
3	調査・研究	23
4	資料の収集・整理	27
5	利用状況	32
II	組織及び運営	40
1	運営組織	40
2	歳出・歳入決算概要	41

I 事業の概要

1 展示活動

(1) 常設展示・テーマ展示

ア 国宝展示室

大 項 目	中 項 目	主な展示資料
綿貫観音山古墳の世界	墳丘に立ち並ぶ埴輪群像	埴輪（あぐら男子、正座女子、三人童女、皮袋女子、振分髪男子、鍬持ち男子、鎌持ち男子、盾持ち男子、馬曳き男子、馬、帽子、盾、家）
	東アジアの中の綿貫観音山古墳	突起付冑、銅水瓶
	巨大石室と豪華な副葬品	金銅装大帯、金銀装頭椎大刀、銀錯龍文大刀、金銅心葉形透彫杏葉、金環、銀環、銀空玉、三累環頭大刀、矛身・石突、鉄鏃、挂甲小札、鉄籠手、鉄脛当、鉄胸当、金銅環状鏡板付轡、鉄地金銅張心葉形鏡板付轡 鉄轡、鉄地金銅張鞍金具、鉄壺鐙、鉄板張壺鐙、金銅歩揺付雲珠、金銅歩揺付辻金具、金銅歩揺付飾金具、金銅花卉形鈴付雲珠・辻金具、鉄雲珠、鉄辻金具、須恵器、土師器

＊令和3年3月20日に展示室をリニューアルし、展示室名を「国宝展示室」に変更した。

イ 原始展示室

大 項 目	中 項 目	主な展示資料
遊動する旧石器人	岩宿遺跡の発見	岩宿遺跡土層剥ぎ取り
	狩猟採集民の道具	岩宿遺跡出土石器（複製）、石器（下触牛伏遺跡・三和工業団地Ⅰ遺跡・上白井西伊熊遺跡・東長岡戸井口遺跡・柏倉芳見沢遺跡・市之関前田遺跡・八ヶ入遺跡ほか）
	移動生活と石器づくり	石器づくり映像、3万5千年前のムラ〔復元画〕、槍先形尖頭器（房谷戸遺跡）、局部磨製石斧（上泉唐ノ堀遺跡）、石材サンプル（黒色安山岩、黒色頁岩、黒曜石、チャート、結晶片岩、大山産石英安山岩）
成熟する縄文社会	土器文化と定住生活	縄文土器（白井北中道遺跡【複製復元品】・波志江中屋敷遺跡・分郷八崎遺跡・中野谷松原遺跡・糸井宮前遺跡・三原田遺跡・矢太神沼遺跡・天神原遺跡・保美濃山遺跡・千網谷戸遺跡ほか）、有舌尖頭器（見立溜井遺跡ほか）、石斧（小島田八日市遺跡）、石鏃（八木沢清水遺跡ほか）、石匙・石錐（糸井宮前遺跡）、ハンバーグ状炭化物（行田大道北遺跡）、凹石・石皿（糸井宮前遺跡）、打製石斧（房谷戸遺跡）、磨製石斧（中村横壁遺跡）、黒曜石原石（糸井宮前遺跡）、ヒスイ大珠（白川傘松遺跡）、中野谷松原遺跡模型

	縄文人の祈り	土偶（天神原遺跡・中栗須滝川Ⅱ遺跡）、獣面把手（上丹生屋敷山遺跡・神保植松遺跡）、土面（本遺跡）、岩版・独鈷石（中栗須滝川Ⅱ遺跡）、石棒（南蛇井増光寺遺跡）
縄文至宝の部屋		土製耳飾り（千網谷戸遺跡）、深鉢（房谷戸遺跡）、石槍（黒熊第5遺跡）、両尖尖頭器（黒井峯遺跡）、ヒスイ（硬玉）製大珠（高崎情報団地Ⅱ遺跡）、「の」の字状石製品（白石大御堂遺跡）、石製垂飾（大上遺跡）、岩版（北米岡遺跡）
農耕社会への道のり	再葬墓の世界	弥生土器（押手遺跡・沖Ⅱ遺跡・上人見遺跡・神保植松遺跡・七日市観音前遺跡ほか）、人歯骨製垂飾（八束脛洞窟遺跡）、石鍬（安養寺森西遺跡）
	水稻農耕文化の展開	炭化米（有馬条里遺跡）、磨製石斧（南蛇井増光寺遺跡・新保遺跡）、石庖丁（荒砥宮川遺跡）、弥生土器（清里庚申塚遺跡・有馬遺跡）、木製農具（新保遺跡）、板状鉄斧（川端遺跡）、新保遺跡模型
	人の移動と社会の再編	鉄剣（有馬遺跡）、鹿角製柄頭（新保田中村前遺跡）、鉄鏃（有馬遺跡ほか）、石戈（古立東山遺跡）、銅戈（三ツ俣遺跡）、銅鏡（長谷津遺跡）、骨角歯牙製品（新保田中村前遺跡）、土器（貝沢柳町遺跡・中居町一丁目遺跡・新保遺跡・荒砥上ノ坊遺跡・東上之宮遺跡ほか）

ウ 古代展示室

大 項 目	中 項 目	主な展示資料
東国の開拓と古墳社会	平野の大開発と古墳の登場	三角縁神獣鏡（川井稲荷山古墳）、舟形木製品（下田遺跡）、石田川式土器（石田川遺跡）、壺形土器（前橋天神山古墳）
	巨大古墳を生み出した力	儀仗・小銅鐸（中溝・深町遺跡）、石製品（下佐野遺跡）、石製模造品（剣崎天神山古墳）、短甲・冑（鶴山古墳）、鉄鋌（上丹生屋敷山遺跡）
	馬文化と東国の要衝	韓式系土器（蔵屋敷遺跡）、鉄製轡（西大山遺跡1号古墳）、馬形土製品（高崎情報団地Ⅱ遺跡）同向式画文帯神獣鏡（古海原前1号古墳）
	上毛野のむらとくらし	黒井峯・西組遺跡模型
東国の政治と文字文化	上毛野国から上野国へ	馬具・鉄製武器（川額軍原Ⅰ遺跡）、軒丸瓦・文字瓦「放光寺」〔複製〕（山王廃寺）、木簡〔複製〕（藤原宮跡）、唐三彩―陶枕（多田山12号墳）「総社バーチャルツアー」（VRコンテンツ）
	文字を書く・読む・伝える	上野三碑模型、山上多重塔模型、石製紡錘車（矢田遺跡）、鬼瓦（黒熊中西遺跡）文字瓦（上野国分寺跡）
	都と東北を結ぶ道	「東山道駅路と上野国」（映像コンテンツ）
	揺れ動く政治と社会	上野国交替実録帳〔複製〕、「上野国交替実録帳の世界」（映像コンテンツ）

エ 中世展示室

大 項 目	中 項 目	主な展示資料
東国武士の原風景	鎮守府将軍の末裔	耕作痕地層剥ぎ取り標本 耕作痕遺構面剥ぎ取り標本
	赤城山南麓の開発と信仰	新田義重謄状〔複製〕、新田義重置文〔複製〕、虚空蔵菩薩懸仏、虚空蔵菩薩坐像、赤城大明神御本地、小鳥が島出土鏡、虚空蔵菩薩坐像（懸仏）
	石塔と石仏のある風景	石造不動明王立像〔複製〕、五輪塔（水輪）未製品、五輪塔（火輪）半製品、宝篋印塔（相輪欠）、宝篋印塔、五輪塔、仁治の碑〔複製〕
	世良田のにぎわい	普光庵出土蔵骨器（古瀬戸瓶子）、伝新田義貞倚像、栄朝禅師倚像〔複製〕
大乱の始まり	新田氏から上杉・長尾氏へ	新田義貞と南北朝の動乱（シアター）、太平記絵巻〔複製〕、鎌倉府執事奉書（長楽寺文書）〔複製〕、鎌倉公方家寄進状（長楽寺文書）〔複製〕、長尾憲明寄進梵鐘、碁盤（伝上杉顕定所用）、釣り鐘型瓦灯、銅製花瓶、銅製火舎香炉
	越境する人と文化	青磁碗、青磁小皿、白磁小皿、白磁八角杯、渥美蓮弁文壺、銭、古瀬戸瓶子（蔵骨器）、古芦屋霰窯、天目茶碗、青磁大皿、青白磁梅瓶
	上州ブランドの黎明	小侍従書状〔複製〕、砥石、鉄黒漆塗六十二間小星兜、鉄黒漆塗六十二間小星兜、金箔押六十二間小星兜、鉄黒漆塗六十二間小星兜、雪下胴具足
戦乱から統一へ	自立する戦国領主	関東幕注文〔複製〕、上杉謙信書状
	戦国の城を巡る	内耳鍋、中国産磁器片（青磁碗・白磁碗・青磁香炉）、国産陶器片（皿・壺・碗）、茶臼（上臼）、砥石、神保植松城模型
	戦国の村の歳時記	長楽寺永禄日記 〔複製〕

オ 近世展示室

大 項 目	中 項 目	主な展示資料
泰平の世の始まり	上野国の大名	井伊直政画像〔複製〕、金小札黒糸威具足、松平直賢黒印状
	村のくらしと新田開発	農耕図、上野国利根郡上川場村之内谷地組御検地水帳、高札（キリシタン訴人）、力田遺愛碑〔複製〕
躍動する民衆	蚕糸・織物業の隆盛	蚕養育手鑑、猫絵、座繰り、関東市町定日案内、桐生書上家織物取引図、前橋藩糸商人仲真鑑札、蚕養草、書上清助像
	水陸交通の十字路口	中山道分間延絵図〔複製〕、中仙道御下向御休泊御本陣附、関所通行手形、旅枕、高瀬舟〔模型〕、利根川図志、倉賀野宿・河岸復元模型、水陸交通の十字路口・上州〔映像〕
	参詣と湯治	日本名山図会、上野国赤城山之図、諸国温泉功能鑑、伊香保温泉道中図
	華開く郷土文化	小八木人形、渋川往来、括要算法、毛翁法筆、算額
動揺する武家社会	災害と人びとのくらし	上福島中町遺跡出土遺物、日本の諸特徴、浅間山吹出之絵図

	横浜開港と幕末の動向	水戸天狗党絵巻〔複製〕、一揆勘弁の木札、ガラス器
--	------------	--------------------------

カ 近現代展示室

大 項 目	中 項 目	主な展示資料
群馬の文明開化	製糸業の近代化	富岡製糸場模型、碓氷社模型、富岡日記音声
	貿易と海外との交流	碓氷社生糸商標、生糸販路拡張ニ関スル意見書、ドイツ製顕微鏡、英国議会調査報告書
	群馬の教育文化	養蚕日誌、第五回内国勸業博覧会名誉金牌授与状（養蚕改良高山社）、繭標本（一代雑種）、蚕体模型、桑模型
	明治期の群馬県政	群馬県治一覧、群馬県案内、修身説約、一府十四県連合共進会絵はがき
戦争とくらし	群馬の軍事施設	高崎十五連隊真景、連隊歴史、岩鼻火薬製造所爆発事故一覧表、岩鼻火薬製造所保育証、臣 29612 ろ部隊配置図
	戦時下の生活	中島飛行機軍用機模型、木製プロペラ、東京都集団疎開資料、桑皮ズボン、アメリカ軍投下ビラ
新しい群馬の息吹	戦後復興のシンボル	群馬交響楽団馬上ティンパニー、群馬交響楽団定期演奏会パンフレット、旧版上毛かるた、上毛かるた原画
	経済成長と変化するくらし	スバル 360、ラビットスクーター、群馬ニュース〔映像〕、アプト式第三軌条、観光絵はがき
	現代群馬のあゆみ	明治から平成にかけての県内（高崎市・館林市・神流町・嬭恋村）の写真

キ デジタル埴輪展示室

大 項 目	中 項 目	主な展示資料
塚廻り古墳群の埴輪	儀礼に臨む巫女	左手を挙げる巫女（4号墳）
		太刀を持つ巫女（4号墳）
	椅子に座る首長と巫女	椅子に座る巫女（3号墳）
		椅子に座る男子（3号墳）
	椅子に座る主人と跪く従者	椅子に座る男子（4号墳）
		膝まづく男子（4号墳）
	馬子と飾り馬	左手を挙げる男子（4号墳）
		飾り馬（4号墳）

* 令和4年3月19日にテーマ展示室を改修し、展示室名を「デジタル埴輪展示室」に変更した。

ク 第17回テーマ展示「縄文の技」

(ア)期間 令和3年3月20日(土)～令和3年5月9日(日) 〔開催日45日〕

(イ)趣旨

今からおよそ3千年前の縄文時代晩期、群馬県地域は東北地方に華開いた亀ヶ岡文化の影響を受けながら、洗練された独自の文化が高度に発達していました。千網谷戸遺跡(桐生市)をはじめ、国の史跡に指定されている茅野遺跡(榛東村)や矢瀬遺跡(みなかみ町)、谷地遺跡・中栗須滝川Ⅱ遺跡(藤岡市)など、地域ごとに拠点となる大集落が営まれていました。これらの遺跡からは膨大な量の出土品が発掘で見つかっています。くらしの道具が豊富になると共に、気候の変化も一因となって精神世界が充実しました。

本展では、国重要文化財 千網谷戸遺跡出土品(桐生市教育委員会所蔵、当館寄託)の中から、「装身」をキーワードに、究極の縄文工芸として名高い土製耳飾や垂飾品を展示し、縄文人の豊かな造形力と高度な技術に触れる機会としました。

(ウ)主催 群馬県立歴史博物館

(エ)会場 群馬県立歴史博物館 テーマ展示室

(オ)展示構成と主な展示資料

① 耳飾

块状耳飾(昭和村月夜野遺跡)／【国重文】土製耳飾／縄文土器／【国重文】土製耳飾削りくず(粘土塊)／耳飾装着復元

②垂飾品

【国重文】玉類・石製垂飾具／【国重文】玉類・土製垂飾具

※ 块状耳飾と耳飾装着復元以外はすべて千網谷戸遺跡出土品

(カ)展示資料点数：381点

(キ)観覧者数：期間中総観覧者数：7,063人(一日平均；約157人)

ケ 第18回テーマ展示「前橋藩松平家の耀き」

(ア)期間 令和3年6月15日(火)～令和3年7月4日(日) 開催日数18日

(イ)趣旨

江戸時代に前橋藩を領した松平家は、徳川家康の次男結城秀康を祖とする家系で、松平大和守家と呼ばれた。本展覧会では前橋藩で幕末を迎えた松平大和守家と武家文化、それを支えた人々の息吹を歴史・美術工芸資料を通じて紹介する。

なお、本展は5月22日から開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために臨時休館となり、会期が短縮した。

(ウ)主催 群馬県立歴史博物館

(エ)会場 群馬県立歴史博物館 テーマ展示室

(オ)展示構成と主な展示資料

第1章 前橋町のにぎわい

主な資料：前橋町祭礼絵図、碁盤・基石(勝山家資料)、文箱(同)

第2章 松平大和守家当主とその家臣

主な資料：松平大和守家歴代当主肖像(孝顕寺/当館寄託)、紺糸威切付小札二枚胴具足(八木家資料)、屏風「松竹梅に鶴」

(カ)講演会

期日 6月20日(日) 於 視聴覚室

演題：「絵図からみた前橋城―大手門の発掘調査を踏まえて―」

講師：小島 純一氏（前橋市教育委員会 文化財保護課）

(キ)資料点数 15 点

(ク)観覧者数：3,931 人（一日平均；218 人）

コ 第19回 テーマ展示「新田猫絵展、再び」

(ア)期間 令和3年7月17日（土）～9月5日（日）

(イ)趣旨

かつて群馬県は全国でも有数の養蚕県でした。短期間で現金収入を得ることができる養蚕は農家にとって家計を支える存在として大きな役割を担い、蚕を「オカイコサマ」あるいは「オコサマ」とよび大切にしてきました。しかし、生き物である蚕は天候や病気の影響を受けやすく、飼育技術の改良がなされる一方、人々は神に繭の豊作を祈りました。豊蚕祈願のひとつに蚕室等に猫の絵を貼り、蚕や繭を食い荒らすネズミを除ける呪いとする風習がありました。

本展ではネズミ除けの効果が高く、養蚕の神様として信仰された「新田猫」とよばれる新田岩松氏の歴代当主が4代にわたり描いた墨絵の猫を中心に展示をします。また錦絵に見る養蚕の風景、養蚕の守り神とされた各種の資料をあわせて紹介することで群馬県の養蚕文化の一端に触れる機会とします。

なお、本展は令和2年度に開催予定であった第14回 テーマ展示 「新田猫絵展」が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったため改めて開催するものです。

(ウ)主催 群馬県立歴史博物館

(エ)会場 群馬県立歴史博物館 テーマ展示室

(オ)展示構成と主な展示資料

【1 養蚕と猫】

養蚕須知、錦絵「皇国養蚕図会」

【2 新田猫】

① 4代の猫絵・・・義寄（温純）、徳純、道純、俊純

② 猫絵いろいろ・・・能純、貞康、勝利、新田万治郎、無銘

【3 蚕の守り神】

(カ)養蚕御札、お諏訪様の竹筒、榛名神社チマキ、高崎だるま、天狗面、

(キ)絹笠明神初絵、オキヌサン人形 他

(ク)展示資料点数：58点

(ケ)入館状況 8,678名

サ 第20回テーマ展示「昭和のくらし」

(ア)期間 令和3年9月18日（土）～11月21日（日） 〔開催日数56日〕

(イ)趣旨

当館所蔵の昭和時代を中心とする生活道具を展示し、あわせて当時の生活の場を一部再現することで、時代とともに変化してきたくらしの様子を紹介した。子どもたちの祖父母世代や親世代が実際に使用していた生活道具を展示し、また道具の思い出を吹き出しで紹介することで、昭和のくらしを家族や友人と語り合う交流の場とした。

小学校3・4年生の社会科学習内容「道具とくらしのうつりかわり」に基づく学習プログラム「む

かしの道具調べ」を学校団体向けに実施した。

(ウ)主催 群馬県立歴史博物館

(エ)会場 群馬県立歴史博物館 テーマ展示室

(オ)展示構成と主な展示資料

【昭和 30 年代の茶の間】(再現)

ちゃぶ台、茶箆筥、黒電話、レトロ風テレビ (DVD による昭和時代のニュース動画放映)

【昭和 50 年代の応接間】(再現)

テーブル、ソファ、サイドボード、カラーテレビ、ステレオ、プッシュホン

【生活道具の移り変わり】

洗濯の道具 (井戸、ローラー式洗濯機、二槽式洗濯機)

炊飯の道具 (かまど、お釜、おひつ、電気釜、保温ジャー、電気炊飯器)

【夏の生活道具】

涼をとる道具 (うちわ、扇風機)

虫対策の道具 (蠅帳、蚊やり豚、ぜんまい式ハエ取り器)

【冬の生活道具】

暖をとる道具 (豆炭あんか、火鉢、湯たんぽ)

【生活道具の移り変わり】

明かりの道具 (燭台、行灯、石油ランプ、白熱電球)

ぬう・編む道具 (くけ台、編み機)

のばす道具 (こて、ひのし、炭火アイロン、電気アイロン)

(カ)展示資料点数 : 84 点

(キ)観覧者数 : 13,413 人 (一日平均 ; 240 人)

(2)企画展示・特別展示

ア 春の特別展示「新・すばらしき群馬のはにわ」

(ア)期間 令和 3 年 2 月 27 日 (土) ~ 5 月 9 日 (日)

(イ)会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

(ウ)展示構成

第 1 章 塚廻り古墳群のはにわ

塚廻り 3 号墳「椅座の男子」「椅座の女子」など (文化庁蔵・国重文)、塚廻り 4 号墳「跪座の男子」「大刀を持つ女子」など (文化庁蔵・国重文)

第 2 章 東京国立博物館所蔵のはにわ

白石稲荷山古墳 家形埴輪、短甲形埴輪、上芝古墳「埴輪 武人」、藤岡市白石「埴輪 男子」、伊勢崎市豊城町「埴輪 鞍」、千代田町新福寺「埴輪 武人頭部」

第 3 章 不動山古墳の円筒埴輪

不動山古墳 円筒埴輪 (本館蔵)

第 4 章 舞台 1 号古墳の世界

舞台 1 号古墳 家形埴輪、朝顔形埴輪、円筒埴輪、石製模造品、土製模造品、土師器 (文化庁蔵・国重文)

第 5 章 歴博はにわ揃え

高塚古墳「挂甲武人」(群馬大学蔵)、赤堀村 120 号古墳「盛装する女子」(群馬大学蔵)、保渡田八幡塚古墳「冑を被る男子」「水鳥」(本館蔵) ほか

(エ)資料点数 116 点

(オ)頒布品・出版物等

図録：A4 判 32 頁有償配布（税込 450 円）

パンフレット：A4 判 8 頁無償配布

パンフレット（英語版）：同上

(カ)関連行事

・講演会「東京国立博物館の埴輪―群馬県域を中心に―」

河野 正訓氏（東京国立博物館 学芸研究部 研究員）

4 月 11 日（日）14：00～15：30

会場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室

定員：70 名（1 か月前より電話予約）

・特別館長スペシャルトーク「すばらしき東国はにわの世界」（全 2 回）

講師：右島 和夫（群馬県立歴史博物館 特別館長）

第 1 回 4 月 4 日（日）、第 2 回 5 月 9 日（日）

会場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室

時間：15：00～、約 1 時間程度

定員：70 名（1 か月前より電話予約）

・学芸員イブニングトーク（全 4 回） 当館学芸員による展示解説

4 月 10 日（土）、4 月 18 日（日）、4 月 24 日（土）、5 月 8 日（土）

会場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室

時間：15 時 00 分～、約 20 分程度

定員：先着 70 名

・動画配信（動画サイト tsulunos にて公開）

「空から見たはにわ古墳」・・・ドローン撮影による動画

その 1 保渡田八幡塚古墳

その 2 塚廻り 4 号古墳

(キ)入館状況

期間中の観覧者数 8,230 人 一日平均 139 人

イ 第103回企画展「古墳大国群馬へのあゆみ」

(ア)期間 令和 3 年 7 月 17 日（土）～9 月 5 日（日）

(イ)会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

(ウ)展示構成

・序章：古墳とは

導入として古墳時代と古墳についての概要を示す。

主な展示史料：群馬県内で残されている様々な古墳の写真パネル、古代から中近世の古墳記録（「日本書紀」、「続日本紀」他）

・第 1 章：描かれる古墳～近世～

近世社会が記録した古墳記録から人びとと古墳の関係を示す。

主な展示資料：絵図（近世の村絵図、中山道分間延絵図〔複製〕）、古文書（「上野国郡村誌」【国重文】）、考古資料（前橋市大黒塚古墳出土遺物）

・第 2 章：古墳との出会い～明治～

地域で古墳と認識されるようになる明治期の人びとと古墳の関係を示す。

主な展示資料：群馬県が残した古墳記録（「古書古器物書類」【国重文】、楫取素彦関係資料【国

重文】他)、地域が残した古墳記録と遺物(前橋市・総社二子山古墳、安中市・築瀬二子塚古墳)、宮内庁書陵部所蔵の群馬県内の古墳発掘遺物(富岡市・北山茶臼山古墳他)、東京国立博物館所蔵の群馬県内の古墳発掘遺物(藤岡市・白石二子山古墳他)

・第3章：古墳と科学～大正・昭和戦前期～

科学的に古墳調査が行われるようになる大正・昭和戦前期の人びと古墳の関係を示す。

群馬県内の古墳発掘記録(「上毛及上毛人」)、東京国立博物館所蔵の群馬県内の古墳発掘遺物(藤岡市・白石稲荷山古墳)、地域で残されていく古墳関係資料(伊勢崎市・赤堀茶臼山古墳)、群馬県古墳一斉調査記録(「昭和10年 古墳調査票」、「上毛古墳総覧」)

・第4章：文化財としての古墳～戦後～

戦後、文化財として扱われる古墳と人びとの関係を示す。

尾崎喜左雄関係資料(「鶴山古墳」他)、現代の群馬の古墳発掘記録と遺物(綿貫観音山古墳出土遺物【国宝】、前橋天神山古墳出土遺物【国重文】)、現代の古墳発掘記録(金井東裏遺跡1号墳の発掘状況パネル他)

・終章：私たちと古墳

現在の私たちと古墳との関係を様々な事象から示す。

現代の古墳に関する記録(「群馬県古墳総合調査」、小学校校歌に登場する古墳紹介、古墳かるた他)

(エ)資料点数 約550点

(オ)頒布品・出版物等

図録：A4判188頁有償配布(税込1,100円)

(カ)関連行事

・シンポジウム「古墳大国群馬へのあゆみ」

日時：8月28日(土) 13:00～16:00

講師：梅澤 重昭氏(元群馬大学教授)

講師：松本 浩一氏(元大胡町教育長)

講師：前原 豊氏(前橋市教育委員会)

講師：若狭 徹氏(明治大学文学部准教授)

コーディネーター：右島和夫(当館特別館長)

※ 新型コロナ感染拡大防止のため中止

・講座(全5回)

① 開催記念講演「群馬の古墳研究と尾崎喜左雄」

日時：7月17日(土) 14:00～15:30

講師：右島 和夫(当館特別館長)

② 「陵墓と宮内庁所蔵の群馬県出土考古品について」

日時：7月31日(土) 14:00～15:30

講師：徳田 誠志氏(宮内庁書陵部)

③ 「明治の古墳調査―前二子古墳・築瀬二子塚古墳―」

日時：8月7日(土) 14:00～15:30

講師：小川 卓也氏(前橋市教育委員会文化財保護課)

講師：鳥居 貴庸氏(安中市教育委員会文化財保護課)

④ 「昭和初期の古墳調査―赤堀茶臼山古墳・白石稲荷山古墳―」

日時：8月21日(土) 14:00～15:30

講師：川道 亨氏(伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館)

講師：齋藤 直樹氏(藤岡市教育委員会文化財保護課)

⑤ 「群馬県の古墳と出土遺物」

日時：9月4日（土）

講師：川口 亮氏（公益財団法人群馬県埋蔵文化財発掘調査事業団）

講師：深澤 敦仁（当館学芸係長）

※ 新型コロナ感染拡大防止のため④・⑤は中止

・展示解説（学芸員による展示のはなし）

会場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室

時間：会期中の毎週水曜 15：00～15：30

※ 新型コロナ感染拡大防止のため8月11日（水）から中止

・オンライン（tsulunosu）動画（全3回、各3～4分程度）

① 右島和夫特別館長による企画展紹介

右島 和夫（当館特別館長）

② 内容紹介「大黒塚古墳のあたり」

アニメーションイラスト映像（声の出演・館職員）

③ 内容紹介「築瀬二子塚古墳の発掘」

アニメーションイラスト映像（声の出演・館職員）

（キ）入館状況

期間中の観覧者数 8,157 人 一日平均 180 人

ウ 第104回企画展「発掘された日本列島2021」

（ア）期間 令和3年10月9日（土）～11月21日（日） 44日間

（イ）会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

（ウ）展示構成

・第1～3章 中核展示、第4章 地域展示

第1章 我がまちが誇る遺跡

第2章 新考古速報

第3章 特集「記念物100年」パネル展示

第4章 最新ぐんまの発掘情報

旧石器時代：三ツ木東原B遺跡・三ツ木東原C遺跡（藤岡市）

縄文時代：小倉丸山砦遺跡（桐生市）

古墳時代：遠見山古墳（前橋市）／金井下新田遺跡（渋川市）

・パネル展示 下里見天神前遺跡（高崎市）／反丸遺跡（太田市）

古代：史跡 上野国分寺跡（前橋市・高崎市）

中世：史跡 岩櫃城跡（東吾妻町）

近世：沼田城跡（沼田市）

近現代：史跡 旧富岡製糸場（富岡市）

（エ）資料点数 880点

（オ）頒布品・出版物等

文化庁編『発掘された日本列島2021』共同通信社（B5判、72頁、税込1,980円）

地域展示図録（A4判、24頁、税込250円）

（カ）関連行事

・講演会（全2回 各回90分）

第1回 右島 和夫 特別館長 「今ぐんまの発掘がおもしろい！」

第2回 文化庁文化財第二課 芝康 次郎 文化財調査官

『発掘された日本列島2021』の見どころ」

・特別企画 遺跡調査成果発表会

第1回（各発表約30分）

「三ツ木東原B遺跡・三ツ木東原C遺跡」

講師：軽部 達也 氏（藤岡市教育委員会）

「小倉丸山砦遺跡」

講師：新井 雅幸 氏（桐生市教育委員会）

「遠見山古墳」

講師：小川 卓也 氏（前橋市教育委員会）

「沼田城跡」

講師：永井 三郎 氏（沼田市教育委員会）

第2回（各発表約30分）

「金井下新田遺跡」

講師：原 雅信 氏

（公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団）

「上野国分寺跡」

講師：橋本 淳 氏

（公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団）

「岩櫃城跡」

講師：吉田 智哉 氏（東吾妻町教育委員会）

「旧富岡製糸場」

講師：水谷 貴之 氏（富岡市教育委員会）

・学芸員展示解説（4回）

10月16日（土）、30日（土）、11月13日（土）、20日（土）14：00～

・動画配信

文化庁作成展示解説動画（You Tube 公開）

展示準備動画（約2分、群馬県動画サイト tsulunosu（ツルノス）公開）

地域展示資料解説（約9分、群馬県動画サイト tsulunosu（ツルノス）公開）

（キ）入館状況

期間中の観覧者数 9,907 人 一日平均 225 人

エ 第105回企画展「アイヌのくらしー時代・地域・さまざまな姿」

（ア）期間 令和4年1月15日（土）～3月6日（日）

（イ）会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

（ウ）展示構成

・序 章：歴史の中のアイヌ工芸

国立民族学博物館所蔵「イラクサ繊維製衣服」（樺太 広地村多蘭泊）が残された時代を写真とともに紐解く。

・第1章：北海道 日本海沿岸の人びと

19世紀前半から多くの和人が流入し、過酷な労働環境、持ち込まれた伝染病の流行で深刻な打撃や都市開発により影響も受けた地域の人びとの歩みをたどる。

（主な展示資料）捧酒箸（余市町/国立民族学博物館所蔵）、儀礼用冠（余市町/国立民族学博物館所蔵）、銚先（小樽市忍路/北海道大学植物園所蔵）

・第2章：北海道 オホーツク海沿岸の人びと

和人による開発が急速に進み大漁場に隣接し、和人社会との切り離しがたい関係のもとに成り立つようになっていったこの地域の人びとの姿を紹介する。

（主な展示資料）船の模型（根室/国立民族学博物館所蔵）、弓（網走市/国立民族学博物館所蔵）・矢筒（斜里町/国立民族学博物館所蔵）

・第3章：アイヌ社会と和人社会の「交易」

「交易の民」と称されたアイヌ民族。和人社会からアイヌ社会にもたらされた「モノ」、アイヌ社会から和人社会へ移出された「モノ」を通じて交易の実態に迫る。

（主な展示資料）オヒョウ繊維製衣服（古平町）、首飾り、腰刀、台盃・行器（伊達市）（全て北海道博物館所蔵）

・第4章：北千島と樺太の人びと

隣接する諸民族との交流を通じ、北海道アイヌとは大きく異なる地域色豊かな文化を育んだ地域に人びとの歩みをたどる。

（主な展示資料）荷縄（色丹島/北海道大学植物園所蔵）、ロシア風衣服（色丹島/根室市歴史と自然の資料館所蔵）、輪状帽（樺太 落帆/北海道博物館所蔵）、イラクサ繊維性衣服（樺太 白浜/北海道博物館所蔵）

・第5章：北海道 太平洋沿岸の人びと

近世まで和人の進出が低調で文化的に高い自立性を維持した状態で近代を迎えた地域の人びとの歩みをたどる。

（主な展示資料）小物入れとはちまき（長万部町/北海道博物館所蔵）、死者用脚絆と手甲（新ひだか待ち東静内/北海道博物館所蔵）

・第6章：群馬のケズリバナとアイヌのイナウ

北海道と群馬県で巡回される本展では、削りかけの技法を用いて作られるアイヌ民族のイナウとよく似た群馬県のケズリバナを紹介する。

（主な展示資料）ハナ（中之条町・藤岡市・上野村・甘楽町/当館所蔵）

(エ)資料点数 250 点

(オ)頒布品・出版物等

図録：A4 判 300 頁有償配布（税込 1,800 円）

パンフレット：A5 判観音開き 8 頁無償配付

(カ)関連行事

・特別講演会

1 月 15 日（土） 特別講演会 いわゆる近世におけるアイヌの暮らし

講師：佐々木 利和（北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員教授）

・講演会 1

2 月 12 日（土） 祈りのかたちー日本と世界の削りかけ文化

講師：今石 みぎわ（東京文化財研究所主任研究員）

・講演会 2

2 月 27 日（日） アイヌ・和人の精神世界

講師：北原 モコットゥナシ（北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授）

時間：各回 13:30～15:00 会場：視聴覚室

・コンサート 「アイヌの音楽ートンコリ・ムックリ演奏ー」

1 月 30 日（日）15:00～16:00、2 月 19 日（土）・20 日（日）11:00～12:00

出演：居壁 太・星野 工 会場：視聴覚室

→新型コロナウイルス感染症拡大予防に伴い内容変更。無観客にて演奏したものを後に映像にて公開した。

・ワークショップ「アイヌ刺繍でマスクを作ろう」

2 月 6 日（日） ①10:00～12:00、②13:30～15:30

講師：宇佐 照代・宇佐 智美 会場：会議室

定員：各回 12 名

・学芸員展示解説

1 月 22 日（土）、2 月 19 日（土）14:00～ 20 分程度

会場：視聴覚室

・映像鑑賞「アイヌのお話アニメ」・「技」

1 月 16, 23, 29 日、2 月 5, 11, 13, 20, 23, 26 日、3 月 5, 6 日 13:30～ 90 分程度

会場：視聴覚室 定員：70 名（予約不要、途中入退場可能）

(キ)入館状況

期間中の観覧者数 11,217 人 一日平均 255 人

(3)展示解説

ア 解説員解説

解説員による定時解説は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止していたが、10 月 23 日から土曜・日曜・祝日に限定して再開した。国宝「綿貫観音山古墳出土品」についての解説とし、視聴覚室のスクリーンに画像を投影して解説した。

団体向けの予約解説も同様に、国宝「綿貫観音山古墳出土品」について、視聴覚室のスクリーンに画像を投影して解説した。

企画展の三品解説は、実施しなかった。

イ 学芸員解説

春の特別展示、第 103 回企画展、第 104 回企画展、第 105 回企画展において、学芸員による資料解説を視聴覚室で行った。

解説実施件数と人数

	定時解説		予約解説		三品解説		学芸員解説		解説計		質問解説
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
4 月	0	0	0	0	0	0	4	113	4	113	85
5 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53
6 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 月	0	0	0	0	0	0	2	18	2	18	26
8 月	0	0	0	0	0	0	1	7	1	7	54
9 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
10 月	6	100	0	0	0	0	2	28	8	128	42
11 月	8	129	1	29	0	0	2	43	11	201	59
12 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 月	3	27	0	0	0	0	1	19	4	46	82
2 月	7	60	0	0	0	0	1	35	8	95	136
3 月	3	23	0	0	0	0	0	0	3	23	69
合計	27	339	1	29	0	0	13	263	41	631	617

* 定時解説は、1 日 2 回（午前 11 時～、午後 2 時～）30 分程度行う常設展示解説。

* 予約解説は、団体等の事前申込による解説希望に対して解説員が行う常設展示解説。

* 三品解説は、企画展の展示資料を 15 分程度で解説するもの。

* 学芸員解説は、学芸員が行う常設展示解説及び企画展示解説（ギャラリートーク）。

* 質問解説は、解説員が観覧者の質問に答えたり、説明したりするもの。

ウ 展示資料Q&A

特別展示及び企画展においては、解説員が手書きで作成した「展示資料 Q&A」を展示資料の前に設置し、来館者が自由に持ち帰ることができるようにした。

展示資料 Q&A 配布枚数

(枚)

VOL.	春の特別展示	第 103 回企画展	第 104 回企画展	第 105 回企画展
1	3,459	1,973	2,089	4,177
2	3,782	1,917	1,950	4,237
3	3,938	1,800	2,382	4,600
4	3,710	2,013	1,958	3,872
5	3,554	2,237	2,071	4,488
6	3,735	—	1,907	3,174
7	3,532	—	—	—
計	25,710	9,940	12,357	24,548

2 教育普及

(1)学校教育との連携

「たくましく生きる力をはぐくむ～自らの可能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う～」(令和3年度群馬県学校教育の指針)を基本目標とする学校に対して、次のとおり事業を実施し学校教育との連携強化に努めた。

ア 学校団体の利用促進のための広報活動

県内小・中・特別支援学校及び県外小学校等に学校向け利用案内パンフレットを配布した。また、第20回テーマ展示「昭和のくらし」のチラシを社会科の学習内容とリンクする県内の小学校3年生全員に配布し、歴史博物館の利用を呼びかけた。

イ 学校向け学習・体験プログラムの実施

- ・歴史を楽しむ展示見学
常設展示室を見学する小学校高学年・中学生向けに3種類のワークシート、小学校中学年向けにワークブック「れきしたんけん」を作成し、歴史への関心を高める一助とした。
- ・「はにわ・古墳探検」の実施
国宝展示室で、ワークブック「はにわ・古墳探検」を用いた調べ学習を実施した。
- ・「むかしの道具調べ」の実施
テーマ展示室とホールで、「むかしの道具カード」を用いた調べ学習を実施した。
- ・「浮世絵多色刷り」の実施
学習室で、群馬の宿場町を描いた浮世絵多色刷りの体験学習を実施した。
- ・「石うす体験」の実施
新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止した。

- ・「くらしと明かり」の実施

視聴覚室で、あんどん・石油ランプ・白熱灯の明るさを比較する体験学習を実施した。

- ・「火おこし体験」の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止した。

ウ 職場体験の生徒受入れ

今年度は実施しなかった。

エ 近代美術館との連携

隣接する近代美術館の展示見学とローテーションを組んで、両館を利用できるようにした。

オ 小学校への指導者派遣「出張！浮世絵体験」の実施

県内小学校6年生向けに、浮世絵多色刷り体験を通して歴史を学べるプログラムを用意し、指導者を派遣した。

カ オンライン授業への協力

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン授業を行う小・中学校に協力した。

キ 学校等利用実績

区分		県内		県外		計	
		校数	人数	校数	人数	校数	人数
館内	小学校	61	3,456	12	803	73	4,259
	中学校	2	25	0	0	2	25
	高等学校・大学等	※1	8	0	0	1	8
	計	64	3,489	12	803	76	4,292
館外	出張	22	947	0	0	22	947
	オンライン	5	50	0	0	5	50
	計	27	997	0	0	27	997
	総計	91	4,486	12	803	103	5,289

※1校は高等特別支援学校

(2) セミナー

ア 企画展等に伴う講演会

種 類	演 題 等		講 師		参加者数	小 計
春の特別展示	講演会	「東京国立博物館の埴輪―群馬県域を中心に―」	河野 正訓 (東京国立博物館 学芸研究部 研究員)	4月11日(日)	56	
第103回企画展	シンポジウム	「古墳大国群馬へのあゆみ」	梅澤 重昭 (元群馬大学教授) 松本 浩一 (元大胡町教育長) 前原 豊 (前橋市教育委員会) 若狭 徹 (明治大学文学部准教授) コーディネーター 右島 和夫 (当館特別館長)	8月28日(土)	新型コロナ感染拡大防止のため中止	
	講演会	①開催記念講演「群馬の古墳研究と尾崎喜左雄」	右島 和夫 (特別館長)	7月17日(土)	60	
		②「陵墓と宮内庁所蔵の群馬県出土考古品について」	徳田 誠志 (宮内庁書陵部)	7月31日(土)	63	
		③「明治の古墳調査―前二子古墳・築瀬二子塚古墳―」	小川 卓也 (前橋市教育委員会文化財保護課) 鳥居 貴庸 (安中市教育委員会文化財保護課)	8月7日(土)	52	
		④「昭和初期の古墳調査―赤堀茶臼山古墳・白石稻荷山古墳―」	川道 亨 (伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館) 齋藤 直樹 (藤岡市教育委員会文化財保護課)	8月21日(土)	新型コロナ感染拡大防止のため中止	
		⑤「群馬県の古墳と出土遺物」	川口 亮 (「公財」群馬県埋蔵文化財発掘調査事業団) 深澤 敦仁 (当館学芸係長)	9月4日(土)	新型コロナ感染拡大防止のため中止	
第104回企画展	講演会	「今ぐんまの発掘がおもしろい！」	右島 和夫 (特別館長)	10月10日(日)	66	
		「今ぐんまの発掘がおもしろい！」	芝 康次郎 (文化庁文化財第二課文化財調査官)	10月24日(日)	60	

	遺跡調査成果発表会	①三ツ木東原 B 遺跡・三ツ木東原 C 遺跡 ②小倉丸山砦遺跡 ③遠見山古墳 ④沼田城跡	軽部 達也 (藤岡市教育委員会) 新井 雅幸 (桐生市教育委員会) 小川 卓也 (前橋市教育委員会) 永井 三郎 (沼田市教育委員会)	10月31日(日)		
		①金井下新田遺跡 ②上野国分寺跡 ③岩櫃城跡 ④旧富岡製糸場	原 雅信 ((公財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団) 橋本 淳 ((公財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団) 吉田 智哉 (東吾妻町教育委員会) 水谷 貴之 (富岡市教育委員会)	11月7日(日)	75	
第105回企画展	講演会	いわゆる近世におけるアイヌの暮らし	佐々木 利和 (北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員教授)	1月15日(土)	64	837
		祈りのかたちー日本と世界の削りかけ文化	今石 みぎわ (東京文化財研究所主任研究員)	2月12日(土)	58	
		アイヌ・和人の精神世界	北原 モコットウナシ (北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授)	2月27日(日)	70	
	イベント	コンサート アイヌの音楽ー トンコリ・ムックリ演奏ー	居壁 太 星野 工	1月30日(日)、 2月19日(土)、 2月20日(日)	90	
		大人のためのワークショップ アイヌ刺繍のマスクを作ろう	宇佐 照代 宇佐 智美	2月6日(日)	24	
		映像鑑賞 アイヌのお話アニメ・技		1月16, 23, 29日、2月 5, 11, 13, 20, 23, 26 日、3月5, 6日	531	
計 2,418人						

イ れきはくセミナー

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3)ワークショップ

ア 体験プログラムの目的

- ・自らの体を動かし、五感を通して挑戦したり製作したりすることで、より深い達成感や感動を味わい、生きる力を育成する。
- ・過去の人間の生き方や願い、生活の知恵に根ざした伝統的な風習を体験的に学ぶことで、祖先への畏敬と親近感を深め、歴史や民俗に対する興味・関心を高める。
- ・参加体験型の学習形態により、体験者と職員・家族等とのコミュニケーションを通して、主体的に楽しく学習できる博物館を目指す。
- ・展示に関連した情報を提供することにより、体系的・共通体験的に来館者の展示に関する理解を深める。

イ 体験プログラム等の形態と実施場所

個人の来館者に対応した体験（れきはくワークショップ等）……学習室・展示室

ウ 体験プログラム等の内容と体験者数(令和3年度)

【れきはくワークショップ】 1日6回（1回30分程度）定員入替制

（①10時、②11時、③12時、④13時、⑤14時、⑥15時）

プログラム名	内容・ねらい	体験者数
はにわプラ板キーホルダー作り 4/3～5/9の土・日・祝日	春の特別展示「新・すばらしき群馬のはにわ」にちなんだプラ板キーホルダー作りを行うことで、群馬の埴輪に対する関心を高める。	838人
蒔絵風コースター作り 6/19～7/4の土・日	テーマ展「前橋藩松平家の耀き」の展示資料に関連して、蒔絵風コースター作りを行うことで、江戸時代の文化への関心を高める。	243人
ポンポンこふんワッペン作り 7/17～8/1の開館日	前方後円墳の形に着目させ、古墳の形をかたどったワッペン作りを行うことで、古墳に対する関心を高める。	920人
くるくるこふんモビール作り 8/3～6	前方後円墳の形に着目させ、古墳の形をかたどったモビール作りを行うことで、古墳に対する関心を高める。	184人
秋の縄文しおり作り 10/2～11/21の土・日・祝日	企画展「発掘された日本列島2021」に関連して、縄文時代の展示品をモチーフにしたスタンプを押すしおり作りを行うことで、縄文時代の文化への関心を高める	1,034人
アイヌ文様カレンダー 1/15～2/13の土・日・祝日	企画展「アイヌの暮らし」の展示資料の衣服の文様に着目させ、アイヌ文様を折り紙で切って貼るカレンダー作りを行うことで、アイヌの人びとの暮らしや文化への関心を高める。	1,041人
タマサイ風ストラップ作り 2/19～3/6の土・日	企画展「アイヌの暮らし」の展示資料の首飾りに着目させ、ビーズを使ったストラップ作りを行うことで、アイヌの人びとの暮らしや文化への関心を高める。	846人
はにわプラ板バッジ作り	デジタル埴輪展示室の新設に関連して、はにわのデザインのプラ板バッジ作りを行うことで、群馬の埴輪に対する関心を高める。	215人

【れきはくワークショップ+】 15時00分～16時00分

プログラム名	内容・ねらい	体験者数
おどるはにわ作り 7/24、31、8/7	夏休み期間中に、小学生を対象としたおどるはにわ作りを行うことで、群馬の埴輪に対する関心を高める。	54人

体験学習 実施人数合計	5,375人
-------------	--------

エ 指導者

職員の他、一般県民から募集した『体験学習ボランティア』の協力により実施している。

(4) イベント

ア イベントの目的

- ・新規利用者の獲得
- ・企画展等の関連行事
- ・入館者の満足度向上
- ・利用者のニーズへの対応
- ・記念行事や周年行事
- ・地域との連携
- ・博物館の広報宣伝

イ 館内イベントの内容と参加者数

イベント名	内容	参加者数
夏のれきはくクイズラリー 「こふん発見」	第 103 回企画展「古墳大国群馬へのあゆみ」の展示資料について、クイズを解きながら鑑賞するクイズラリーを実施。チラシ裏面の塗り絵を持参するイベントも同時開催。	5,694 人 【42 日間】
はにわを発掘してみよう	埴輪のフィギュアを掘り出して、墳丘に並べる体験	394 人 【12 日間】
こどもセミナー	企画展で取り上げる古墳のうち 2 つの古墳について、現地で講師の話を聞いたり関連施設を見学したりする。	34 人 【2 日間】
ジオラマ探検	各展示室のジオラマの中から、特定の人物を探すワークシートを配布。ワークショップを開催できない期間限定。	306 人 【6 日間】
高校生ワークショップ	高校生を対象に、考古学と歴史学の視点から歴史にアプローチする方法を紹介。	23 人 【2 日間】
冬のれきはくクイズラリー 「アイヌのくらしたんけん」	第 105 回企画展「アイヌのくらし」の展示資料について、クイズを解きながら鑑賞するクイズラリーを実施。チラシ裏面の塗り絵を持参するイベントも同時開催。	5,976 人 【18 日間】

ウ 館外イベントの内容

イベント名	内容	参加者数
はにわスタンプコースター作り（県庁 32 階）	文化振興課主催イベント「HANIー祭」にて、はにわのスタンプを押すコースター作りを実施。	140 人 【1 日間】
はにわスタンプ巾着作り（東急ハンズ高崎店）	東急ハンズ高崎店主催のイベントに協力。はにわのスタンプを押す巾着作りを実施。	80 人 【1 日間】

(5) ボランティア

歴史博物館ボランティアは、次の活動に従事している。

- ・体験ボランティア…体験学習の学習者に対する支援、指導、準備

ア 概要

- ・登録ボランティアは令和3年3月末現在、49名が登録している。土・日曜日、祝日の活動が中心で、歴史や社会貢献、社会的有用労働に興味を持っている人が多い。
- ・年代別に見ると、60代以上の在籍者は3割を越え、高齢化はあるものの、大学生・高校生等の若年層も確実に増加している。
- ・60代以上の人は退職後に、社会のために何か役立ちたいという理由でボランティア活動をはじめた方が多い。土・日曜日だけでなく平日の学校団体向け体験学習においての活動の希望があるが、今年度はコロナ禍のため平日の実施はなかった。
- ・ボランティアの居住地域は、当館から1時間以内の市町村（高崎市、前橋市、藤岡市、伊勢崎市、玉村町）が多いが、中には東毛地区、一部県外から長時間かけて参加するボランティアもいる。
- ・今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、夏休み期間中の学生ボランティア（県内高校生）の募集は見送った。

イ 年間の活動人数

- ・体験ボランティア … 延べ100名程度の一般ボランティアが活動した。一般向けワークショップの支援として、活動（7月～3月）した。
- ・高校生ボランティア… 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、高校生ボランティアの募集は見送った。

ウ 研修会の実施

- ・一般向けワークショップ支援を円滑に進めるために、ボランティア参加の初日に新しい内容になるたびに研修的参加をお願いした。
- ・コロナ禍対策で、集会的研修会は実施していない。

エ その他

- ・ボランティアには館から食費・交通費の支給はない。
- ・ボランティアへの連絡も兼ね、「ボランティアだより」を毎月発行し、裏面にはボランティア当番予定表を記載した。

(6) 広報活動

ア ちらし配布

県内各小・中・養護・高等学校、県内教育機関、県内文化会館、県内各市町村公民館、県内外博物館、県内図書館、県内報道機関、県内観光施設等

イ 歴史博物館カレンダー配布

県内各小・中・養護・高等学校、県内教育機関、県内文化会館、県内各市町村公民館、県内

外博物館、県内図書館、県内報道機関、県内観光施設等

ウ 県メディアプロモーション課関係広報

ぐんま広報、グラフぐんま、ぐんま情報トッピング、県公式アカウント SNS 等

エ 県内報道機関へのPR

上毛新聞本社、読売新聞前橋支局、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞社前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、上毛新聞ぱれっと編集室、上毛新聞タカタイ編集室、朝日ぐんま、群馬よみうり、日本放送協会前橋放送局（出演を含む）、群馬テレビ（出演を含む）、エフエム群馬（出演を含む）、ラジオ高崎（出演を含む）等

オ 広報誌掲載

タウン情報誌、月刊情報誌、歴史関連雑誌等

カ 企画展図録配布

県内教育機関、県内各市町村教育委員会、県内図書館等

キ 紀要配布

県内教育機関、県内各市町村教育委員会、県内外博物館、県内図書館、国関係機関等

ク 年報をホームページに掲載

年報を当館ホームページに PDF ファイルで掲載

ケ 学校団体利用促進広報

県内小・中・養護・高等学校、県内各市町村教育委員会、県外（埼玉、東京、神奈川等）小学校への利用案内の配布

県外の教育委員会の実地踏査の受け入れ
出前授業の案内ちらしの配布

コ ホームページの充実

企画展の紹介や資料一覧・資料画像等、掲載情報の充実
イベントや休館日を確認できる開館カレンダーの掲載
Facebook・Twitter ページの更新

サ 群馬の森来園者に対する広報の充実

公園入口へのポスター掲示

(7) 刊行物の発行

	名 称	規格・頁数	部数
書籍	第 103 回企画展「古墳大国群馬へのあゆみ」図録	A 4 1 9 0 頁	2, 000
	第 104 回企画展「発掘された日本列島 2021」地域展示図録	A 4 2 4 頁	2, 000
	第 105 回企画展「アイヌの暮らし」図録	A 4 3 0 0 頁	1, 100
	紀要第 4 3 号	A 4 7 2 頁	900
	年報第 4 2 号	A 4 4 4 頁	50
パン フ レ ッ ト 類	群馬県立歴史博物館カレンダー(2022-2023)	A 4 巻き三つ折り	30, 000
	第 103 回企画展「古墳大国群馬へのあゆみ」リーフレット	A 4 二つ折り	10, 000
	第 104 回企画展「発掘された日本列島 2021」リーフレット	A 4 二つ折り	10, 000
	第 105 回企画展「アイヌの暮らし」リーフレット	A 5 仕上げ 観音折り	10, 000
	春の特別展「高崎藩のお殿様」リーフレット	A 4 二つ折り	5, 000
	ist テーマ展示 vol. 18「前橋藩松平家の耀き」	A 3 二つ折り	3, 000
	ist テーマ展示 vol. 20「昭和の暮らし」	A 3 二つ折り	3, 000
	令和 4 年度学校向け利用案内	A 3 二つ折り	7, 000
	学校団体向け展示見学ワークブック「れきしたんけん」	B 5 8 頁	3, 000
	学校団体向け展示見学ワークブック「はにわ・古墳探検」	B 5 8 頁	3, 000
ち ら し	第 103 回企画展「古墳大国群馬へのあゆみ」ちらし	A 4	25, 000
	第 104 回企画展「発掘された日本列島 2021」ちらし	A 4	25, 000
	第 105 回企画展「アイヌの暮らし」ちらし	A 4	25, 000
	春の特別展「高崎藩のお殿様」ちらし	A 4	25, 000
	第 20 回テーマ展示「昭和の暮らし」ちらし	A 4	23, 000
	「夏のれきはく こふん発見!!」ちらし	B 5	110, 000
	「冬のれきはく アイヌのくらしたんけん」ちらし	B 5	110, 000
ポ ス タ ー	第 103 回企画展「古墳大国群馬へのあゆみ」ポスター	B 2	1, 900
	第 105 回企画展「アイヌの暮らし」ポスター	B 2	1, 900
	春の特別展「高崎藩のお殿様」ポスター	B 2	1, 900

3 調査・研究

(1) 資料調査

ア 趣旨

群馬の歴史や文化を考える上で、有益な各種資料の調査を「令和3年度群馬県立歴史博物館資料調査員の設置並びに資料調査実施要領」に基づいて実施した。

(ア) 資料調査の目的

博物館内外の資料調査や調査研究あるいは、展示手法や教育プログラムの閲覧等を行い、博物館活動の充実をはかる。

(イ) 資料調査員

資料調査員は、研究者及び有識者の中から委嘱する。

資料調査員は、考古・歴史・美術工芸・民俗の各部門について適任者を選定する。

委嘱の期間は、令和3年6月11日から令和4年3月31日までとする。

イ 調査テーマ一覧

No	分野	調査テーマ	調査員	担当職員
1	考古	藺田芳雄関係資料の基礎的調査	関根 史比古（1）	石田典子
2	民俗	都丸九十一資料の基礎的調査	井坂 優斗（2） 伊藤 克枝（3） 瀧澤 典枝（4） 永島 政彦（5）	武藤直美

（1）安中市教育委員会文化財保護課、（2）館林市市史編纂センター、（3）富岡市教育委員会、（4）岩宿博物館、（5）群馬県立太田フレックス高等学校教諭

ウ 資料調査員会議

令和3年9月、令和4年3月中の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止とした。

(2) 調査研究

博物館活動及び館職員の資質向上に資するために、今年度の調査研究計画を決定し実施した。

令和3年度調査研究テーマ一覧

〔敬称略・順不同〕

No	氏名	分野	テーマ
1	石田 典子 関根 史比古（1）	考古	藺田芳雄関係資料の基礎的調査
2	森田 真一	歴史	中世東国上杉氏の研究
3	江原 幸太郎	歴史	近世上州における茶の湯の広まり
4	佐藤 有	歴史	近代日本の中央と地方（明治期の古墳と地域）
5	武藤 直美	民俗	都丸九十一資料の基礎的調査

	井坂 優斗（２） 伊藤 克枝（３） 瀧沢 典枝（４） 永島 政彦（５）		
6	長井 正賢 原 千紘 中村 みき 下田 裕康	教育普及（れきはくアカデミー）	子どもと歴史・文化財をつなぐ
7	下田裕康 中村 みき 長井 正賢 原 千紘	教育普及（学校教育連携）	子どもと歴史・文化財をつなぐ

（１）安中市教育委員会文化財保護課、（２）館林市市史編纂センター、（３）富岡市教育委員会、（４）岩宿博物館、（５）群馬県立太田フレックス高等学校教諭

（３）各調査研究部門

ア 考古部門

- （１）の資料調査のとおり、職員と資料調査員が資料調査を行った。
- （２）の調査研究のとおり、職員と資料調査員が調査研究を行った。

イ 歴史部門

- （２）の調査研究のとおり、各職員が調査研究を行った。

ウ 民俗部門

- （１）の資料調査のとおり、職員と資料調査員が資料調査を行った。
- （２）の調査研究のとおり、職員と資料調査員が調査研究を行った。

エ 美術工芸部門

該当なし

オ 教育普及部門

- （２）の調査研究のとおり、各職員が調査研究を行った。

(4) 紀要

『群馬県立歴史博物館紀要第 43 号』を刊行した。A4 判 70 頁内容は、以下のとおりである。

『群馬県立歴史博物館紀要第 43 号』執筆稿一覧

〔敬称略・順不同〕

NO	執筆者	表題	種別		
1	下田 裕康 中村 みき 長井 正賢 原 千紘	教育普及プログラムの開発と実践	和文 横書	25 頁	論文
2	江原 幸太郎	資料紹介 酒井忠恒（培堂）老松 図・書	和文 縦書	10 頁	資料紹介
3	内山 侑子	史料紹介『赤城根元記』	和文 縦書	13 頁	史料紹介
4	鈴木 英恵	産着再考—『日本産育習俗資料集 成』の検討から—	和文 横書	22 頁	論文

(5) 企画展プロジェクト・企画展委員会

ア 第 106 回企画展

(ア) プロジェクト委員等〔敬称略・順不同〕

筑波大学名誉教授 山本 隆志
日本甲冑武具研究保存会 会長 永田 仁志
日本美術刀剣保存協会 高崎支部長 小川 晃
右島 和夫・宮川 豊・松村 はつみ・深澤 敦仁・下田 裕康・江原 幸太郎
佐藤 有・森田 真一（群馬県立歴史博物館）

(イ) 委員会の開催

今年度は全体検討会を 3 回開催し、展示品の選定や展示構成、関連行事について検討を行った。

第 1 回

日 時：令和 3 年 8 月 3 日（火）13 時～16 時 30 分

会 場：群馬県立歴史博物館 会議室

議 題：展示品の選定や展示構成、関連行事について

第 2 回

日 時：令和 3 年 12 月 17 日（水）9 時 30 分～12 時

会 場：群馬県立歴史博物館 会議室

議 題：展示品の選定や展示構成、関連行事について

第 3 回

日 時：令和 3 年 3 月 22 日（水）9 時 30 分～13 時

会 場：群馬県立歴史博物館 会議室

議 題：展示品の選定や展示構成、関連行事について

イ 第107回企画展

(ア) プロジェクト委員等〔敬称略・順不同〕

阿久澤 智和（前橋市教育委員会 文化財保護課 副主幹）
出浦 崇（伊勢崎市教育委員会 文化財保護課 埋蔵文化財係長）
小宮 俊久（太田市教育委員会 文化財課 主任専門員）
桜岡 正信（公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団 副事業局長）
笹澤 泰史（群馬県地域創生部 文化財保護課 文化財活用係 主幹（総括））
滝沢 匡（高崎市教育委員会 文化財保護課 埋蔵文化財担当係長）
中村 光一（上武大学ビジネス情報学部 スポーツ健康マネジメント学科 教授）
中村 渉（太田市教育委員会 文化財課 史跡整備係長）
渡辺 晃宏（奈良大学 文学部 史学科 教授）
右島 和夫・宮川 豊・松村 はつみ・深澤 敦仁・下田 裕康・徳江 秀夫・飯田 浩光
（群馬県立歴史博物館）

(イ) 委員会等の開催

今年度は展示指導を1回、全体検討会を1回開催し、対象となる遺跡・古墳の検討、展示品の選定や展示構成についての検討を行った。

展示指導

日 時：令和3年11月18日（木）8時30分～17時

場 所：県内の展示関連遺跡、関連資料館

内 容：対象となる遺跡・古墳の検討、展示品の選定や展示構成についての検討
全体検討会

日 時：令和3年11月30日（火）14時～17時

会 場：群馬県立歴史博物館 会議室

内 容：展示品の選定や展示構成について

(6) 社会貢献と個別研究

ア 博物館実習の受入

博物館実習を以下のように行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、期間を2日間に短縮して実施した。

期 間：令和3年8月31日（火）～9月1日（水） 2日間

内 容：博物館の業務と目的を理解するために必要な事項

学芸員の仕事への理解を深める事項

その他、博物館に関する事項

実習生数：12名

イ 講演会等への出講

No.	職員名	日時	内容		場所		参加者数
			事業名	タイトル	会場	所在地	
1	深澤 敦仁	令和3年11月28日（日）	歴史と文化を学ぶ会 講演会	蝦夷と呼ばれた人々と群馬の古代	吉井文化会館	群馬県高崎市	250
2	森田 真一	令和3年6月5日（土）	群馬県地域文化研究協議会 地域研究会「上武国境山間地域の歴史と文化」	戦国前期武蔵国秩父郡における武家権力	オンライン配信	ー	50
3	森田 真一	令和3年11月6日（土）	新潟史学会第71回研究大会発表	戦国前期越後国鶴川荘をめぐる諸勢力ー八条上杉氏を中心としてー	オンライン配信	ー	40
4	武藤 直美	令和3年10月2日（土）	ぐんまの伝統文化普及啓発事業「ぐんま民俗芸能の四季」	ぐんまの祭り・芸能	群馬県総合公社ビル	群馬県前橋市	100
5	武藤 直美	令和3年10月23日（土）	ぐんま16ミリ映画ミニ講座	世界で唯一の歌舞伎舞台	群馬県生涯学習センター	群馬県前橋市	20
6	飯田 浩光	令和3年6月30日（水）	東国文化ハカセ出張授業	多胡碑、上野三碑について	高崎市立吉井小学校	群馬県高崎市	60
7	飯田 浩光	令和3年10月15日（金）	前橋西ロータリークラブ卓話	群馬の古墳時代について	ホテルサンダーソン	群馬県前橋市	40
8	飯田 浩光	令和3年11月2日（火）	令和3年度研修講座「小・中学校初任者研修・社会」	実はすごい、群馬の古代	群馬県総合教育センター	群馬県伊勢崎市	12
9	佐藤 有	令和4年2月26日（土）	群馬県地域文化研究協議会研究大会	廃藩置県と城郭の変容	オンライン配信	ー	30
10	江原 幸太郎	令和3年2月25日（金）～3月14日（月）	大泉町協働のまちづくりセミナー	江戸時代の生活から学ぶこれからの地域コミュニティ	オンライン配信	ー	77

4 資料の収集・整理

（1）資料整理

ア 考古部門

台帳と収蔵資料管理システムに入力済みの資料の整合確認作業を実施した。また、考古収蔵庫の収蔵品について、現品確認を行った。

イ 歴史部門

資料の収集については、写真資料（紙焼き・ネガ・ガラス乾板）を個人から受け入れた。

資料の整理については、目録と資料との突合作業を昨年度より継続し、目録不備資料の目録作成を行った。併せて収蔵資料の配架整理を行った。

ウ 民俗部門

台帳と収蔵資料管理システムに入力済みの資料の整合確認作業を実施した。令和元年度末に受け入れを行った都丸十九一資料の整理を進めた。小正月ツクリモノに関する資料整理を実施した。

エ 美術工芸部門

収蔵資料の配架整理及び台帳との整合確認を実施した。

(2) 保存管理

資料整理及び管理は各研究室・収蔵庫・展示室ごとに行われるが、共通事項として保存環境の整備・資料の修復があり、以下の事業を行った。

ア 保存環境の整備

- ・収蔵庫・展示室の温湿度調整・記録（機械自動管理とデータロガーによる）
- ・環境モニタリングシステムサーバPCの更新
- ・虫菌害防止対策として、収蔵庫・展示環境の測定（飛来虫などを館職員で捕獲し記録）や清掃、整理整頓等の日常管理
- ・資料燻蒸（企画展に伴い、燻蒸庫にて資料燻蒸を3回実施した）

イ 資料の修復及び保存修理

- ・刀剣資料90振りと鉄砲資料80挺の手入れを各1回実施した。
- ・美術工芸部門において、松本宏洞筆「雲山訪隠士図」の軸先修理、松本宏洞筆「波濤図」の修復を実施した。また、歴史部門において、「園田家三祖公肖像」、矢島群芳筆「花鳥図」を修復した。

ウ 公開承認施設の承認について

公開承認施設の承認申請に向けて、日常管理体制及び危機管理マニュアルの見直しを実施した。

(3) 収集資料

本年度の収集資料は、寄贈資料4点、購入資料0点、移管資料1点、採集資料0点で、合計5点。総計101,235点となる。

ア 令和3年度所蔵資料集計

部 門	自 然	考 古	歴 史	美術工芸	民 俗	教育普及	合 計
	件 点	件 点	件 点	件 点	件 点	件 点	件 点
寄贈資料	0-0	0-0	0-0	2-4	0-0	0-0	2-4
購入資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
移管資料	0-0	0-0	1-1	0-0	0-0	0-0	1-1
採集資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
令和3年度	0-0	0-0	1-1	2-4	0-0	0-0	3-5
総 計	129	32,892	45,388	2,652	19,044	1,130	101,235

今年度寄贈数	0	0	0	4	0	0	4
今年度購入数	0	0	0	0	0	0	0
今年度移管数	0	0	1	0	0	0	1

イ 寄贈資料 2件4点

N o .		部門	資料名称	点数	寄贈者	住所
1	1	美工	太刀 備前国長船住助久造、永仁陸年五月日 附、感状 1通	1	個人	高崎市
2	1	美工	黒鉄釉薬四耳茶壺（瀬戸美濃焼・大壺）	1	個人	前橋市
	2	美工	土堀釉掛薬耳付茶壺（瀬戸美濃焼・中壺）	1		
	3	美工	土堀釉掛薬耳付茶壺（瀬戸美濃焼・小壺）	1		

ウ 購入資料 0件

エ 移管資料

N o .		部門	資料名称	点数	移管者	住所
1	1	歴史	初代ぐんまちゃん案内板	1	群馬県畜産課	前橋市

オ 採集資料 0件

カ 寄託資料 88件 5,777点

N o.		部門	資料名称	点数	寄託者	住所	備考
1	1	美工	小鳥が島出土鏡	12	赤城神社	前橋市	継続
2	1	歴史	間引絵馬	1	赤谷十二神社	みなかみ町	継続
3	1	美工	太刀 長谷部義重	1	愛宕神社	高崎市	継続
4	1	考古	冠状石器	1	個人	神流町	継続
5	1	考古	大根出土 縄文土器	1	個人	太田市	継続
6	1	歴史	板鼻宿駄賃高札	1	安中市板鼻公民館・板鼻自治区	安中市	継続
7	1	考古	白石稲荷山古墳南側所在古墳 出土遺物	1	飯玉神社	藤岡市	継続
8	1	歴史	猪狩家資料 54 点 猪狩家所蔵書籍 824 点	878	猪狩家文化財管理者	神奈川県	継続
9	1	歴史	大正時代の珍緋銘仙	1	伊勢崎織物協同組合	伊勢崎市	継続
10	1	考古	上植木庵寺出土軒丸瓦・軒平瓦	2	伊勢崎市立殖蓮小学校 校長	伊勢崎市	継続
11	1	民俗	皮靴、鉄かぶと、防空頭巾、下駄、愛国婦人会たすき	53	個人	渋川市	継続
12	1	歴史	沼田藩藩札	1	個人	前橋市	継続
13	1	美工	太刀 備前国長船住助久造、永仁陸年五月日 附、感状 1 幅	1	個人	高崎市	継続
14	1	民俗	提燈 1 点 かん燈 1 点 兵役法関係法規 1 点 鑑札 1 括 はんこう 3 点 焼板 4 点	11	個人	館林市	継続
15	1	美工	島霞谷・隆夫妻関係資料（絹本着色水引を持つ女性像）	1	個人	桐生市	継続
16	1	考古	滝谷出土資料	231	個人	昭和村	継続
17	1	民俗	小八木人形の首、白尉・黒尉面	28	鏡宮神社	高崎市	継続
18	1	歴史	春日蝶関係書簡	1	個人	茨城県	継続
19	1	考古	枯木出土石包丁	5	個人	中之条町	継続
20	1	美工	農耕屏風	1	個人	高崎市	継続
21	1	考古 美工	ベルギー製回転弾倉式けん銃 1 丁 青龍刀 1 口 蜜刀 1 口 重要文化財 上野千綱谷戸遺跡出土品（桐板製座板、桐箆笥 2 棹含む）649 点	652	桐生市教育委員会	桐生市	継続
22	1	美工	県指定重要文化財 天満宮社殿附妻之図	1	桐生天満宮	桐生市	継続
23	1	民俗	帯（明治期）、着物（男子・女子用）	26	個人	藤岡市	継続
24	1	歴史	養蚕法原書	4	群馬県農政部	前橋市	継続
25	1	考古	観音山古墳石室用石材	1	群馬県文化財保護課	前橋市	継続
26	1	歴史	コントラバス 2 点 馬乗ティンパニー 2 点 定期演奏会プログラム 3 点	7	群馬交響楽団	高崎市	継続
27	1	考古	石山南古墳出土埴輪他 不二山古墳一括遺物一式	56	群馬大学共同教育学部	前橋市	継続
28	1	美工	松平大和守家歴代藩主画像 10 幅 結城政勝画像 1 幅 松平大和守直矩筆絹本着色菊図 1 幅 松平大和守直矩書写紺紙金泥妙法蓮華経提婆達多品 1 冊	13	孝顕寺	前橋市	継続
29	1	歴史	大般若経（折本）	600	光厳寺	前橋市	継続
30	1	美工	後醍醐天皇和歌 1 点 足利義輝書状 1 点 脇屋義助短歌 1 点	3	個人	高崎市	継続
31	1	美工	小林家文書	29	個人	山形市	継続
32	1	考古	桐生市新里町出土 土版 1 点 桐生市千綱谷戸出土 土偶脚部 1 点	2	個人	桐生市	継続
33	1	考古	北米岡遺跡出土 甕形土器	1	個人	伊勢崎市	継続
34	1	歴史	御用箱	1	個人	太田市	継続
35	1	考古	双鳳八稜鏡 1 点 六鈴鏡 1 点 半円方格帯四神四獣鏡 1 点 桐紋蓬萊鏡 1 点 鏤文花鏡（菱紋蓬萊鏡）1 点	5	産泰神社	前橋市	継続
36	1	美工	紙本金地秋草花卉図 1 幅 紙本金地孔雀牡丹図 1 幅	2	浄運寺	桐生市	継続
37	1	美工	紙本墨画岩松尚純像	1	青蓮寺	太田市	継続
38	1	民俗	膳、しゃもじ、飯櫃	23	個人	前橋市	継続
39	1	美工	島霞谷・隆夫妻関係資料	1	個人	桐生市	継続
40	1	美工	絹本着色観桜舟遊図屏風	1	個人	藤岡市	継続
41	1	美工	曼荼羅	1	個人	藤岡市	継続
42	1	考古	紡錘車	1	個人	高崎市	継続
43	1	美工	銅製銚子 1 口 破片 3 点	4	個人	高崎市	継続
44	1	考古	上野国分寺跡出土品	100	個人	高崎市	継続
45	1	考古	富岡市上高尾西日向出土 経筒 1 点 同容器 1 点	2	個人	富岡市	継続
46	1	歴史	関札「高須少将休」1 点 「因幡少将休」1 点	2	個人	伊勢崎市	継続
47	1	美工	絹本着色白崖宝生禅師像	1	泉龍寺	伊勢崎市	継続
48	1	美工	木造不動明王立像	1	総持寺	太田市	継続

49	1	美工	二十五菩薩来迎図	1	宗本寺	中之条町	継続
50	1	美工	刀 銘 和泉守兼重 1 口 脇差 銘 豊後国重行 1 口 短刀 無銘 1 口 槍 無銘 1 口	4	高崎市教育委員会	高崎市	継続
51	1	美工	刀 銘 上野国長谷部義重 1 口 同刀装具（右京拵） 1 式 短刀 無銘 1 口 同刀装具 1 式 刀 銘 上野住継政 昭和十九年七月日 1 口	5	高崎市教育委員会	高崎市	継続
52	1	考古	中央小遺跡出土資料	16	高崎市立倉渕小学校	高崎市	継続
53	1	歴史	老農夜話	1	個人	高崎市	継続
54	1	考古	川額出土資料等	61	個人	昭和村	継続
55	1	考古	鉄製素文鏡・六鈴鏡	2	個人	高崎市	継続
56	1	美工	銅造虚空蔵菩薩懸仏	1	長光寺	伊勢崎市	継続
57	1	美工	長楽寺資料	189	長楽寺	太田市	継続
58	1	青木	天狗岩用水絵図	1	天狗岩堰土地改良区	前橋市	継続
59	1	美工	太刀（銘了戒）	1	東照宮	太田市	継続
60	1	美工	下川文書（付けたり包紙）	6	個人	伊勢崎市	継続
61	1	民俗	婦人の着物、手提げ袋	16	個人	沼田市	継続
62	1	考古	香炉型土器 1 点 石刀 1 点	2	個人	東吾妻町	継続
63	1	歴史	軍用機模型 4 点 防弾板 1 点	5	個人	大泉町	継続
64	1	歴史	一揆勘弁の木札	1	個人	安中市	継続
65	1	歴史	四君子図 1 点 ハンデルプユルグ窮理書抄 1 点	2	学校法人 新島学園	安中市	継続
66	1	考古	霜田出土弥生土器等	106	個人	東吾妻町	継続
67	1	歴史	街道関係資料 3 点 地租改正道具 7 点 『正副区長・戸長・及び立会人職制概則』 1 点	11	個人	高山村	継続
68	1	美工	太刀 銘長光 1 口 刀 銘兼元 1 口 刀 銘盛高 1 口	3	個人	前橋市	継続
69	1	美工	上杉輝虎（謙信）書状写	1	個人	高崎市	継続
70	1	美工	紙本着色泰西王侯図 2 幅 紙本着色達磨図 1 幅	3	満福寺	藤岡市	継続
71	1	考古	上北ノ根出土 剣形石斧	1	個人	富岡市	継続
72	1	歴史	新町宿三俣本家資料 A 群 103 件 B 群 66 件	169	個人	前橋市	継続
73	1	歴史	群馬県誌（皇紀 2600 年記念）	1	個人	伊勢崎市	継続
74	1	美工	妙安寺資料	12	妙安寺	前橋市	継続
75	1	歴史	森山芳平関係資料	526	個人	千葉県	継続
76	1	美工	太刀 銘(表)大隅俊平作 (裏)以利根川砂鉄 平成十一年 十一月三日	1	個人	伊勢崎市	継続
77	1	美工	短刀 銘 當麻 及び付属品	1	個人	藤岡市	継続
78	1	民俗	郷土風コレクション	412	個人	桐生市	継続
79	1	歴史	吉田家資料	1	個人	東京都	継続
80	1	民俗	高札、山高帽、袴、ネクタイ	26	個人	桐生市	継続
81	1	歴史	稲妻の鎧（保管用笥 3 個付き）	1	頼政神社	高崎市	継続
82	1	美工	柿沼山岳画（富岡コレクション）	50	個人	太田市	継続
83	1	歴史	千人針	1	個人	高崎市	継続
84	1	美工	馬銜（くつわ）	1	個人	東吾妻町	継続
85	1	歴史	土岐家資料	1350	個人	東京都	継続
86	1	美工	刀 銘加州金沢住藤原清光作	1	個人	桐生市	継続
87	1	美工	脇差 銘 一心子秀命 槍 銘 上州住守重 脇差 表銘 応齊藤記武之需 藤枝英義作 裏名 明治六酉年八月吉日（花押）	4	個人	前橋市	継続
88	1	美工	棟方志功作品一括	8	公益財団法人中曽根康弘世 界平和研究所	東京都	新規

5 利用状況

(1) 利用者数

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（令和3年5月22日～6月13日）

ア 月別利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
(開館日数)		(26)	(9)	(14)	(17)	(27)	(16)	(27)	(18)	(0)	(14)	(24)	(17)	(209)
観 覧 者	一 般	2,651	1,664	1,093	2,302	2,915	1,384	4,019	3,227	0	2,200	3,993	2,739	28,187
	高・大学生	65	91	34	94	152	70	113	126	0	69	137	122	1,073
	小・中学生	305	408	965	1,136	1,319	469	2,230	1,659	0	797	1,078	631	10,997
	幼 年 者	108	87	33	207	250	126	220	148	0	326	519	328	2,352
	身 障 者	143	63	67	101	119	48	114	118	0	89	176	136	1,174
	小 計	3,272	2,313	2,192	3,840	4,755	2,097	6,696	5,278	0	3,481	5,903	3,956	43,783
教育普及事業参加者		525	744	1,614	4,197	3,476	726	4,312	4,350	759	2,998	4,756	1,703	30,160
計		3,797	3,057	3,806	8,037	8,231	2,823	11,008	9,628	759	6,479	10,659	5,659	73,943
累 計		3,797	6,854	10,660	18,697	26,928	29,751	40,759	50,387	51,146	57,625	68,284	73,943	

イ 教育普及事業参加者内訳(個人・団体)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計
(開館日数)	(26)	(9)	(14)	(17)	(27)	(16)	(27)	(18)	(0)	(14)	(24)	(17)	(209)
行事参加者	525	482	188	3,789	3,476	610	840	1,165	759	2,906	4,522	1,703	20,965
学校団体行事参加者	0	262	1,426	408	0	116	3,472	3,185	0	92	234	0	9,195
計	525	744	1,614	4,197	3,476	726	4,312	4,350	759	2,998	4,756	1,703	30,160
累 計	525	1,269	2,883	7,080	10,556	11,282	15,594	19,944	20,703	23,701	28,457	30,160	

ウ 学校団体等行事参加者内訳(複数のプログラムに参加の学校もあり)

月 (開館日数)		4月 (26)	5月 (9)	6月 (14)	7月 (17)	8月 (27)	9月 (16)	10月 (27)	11月 (18)	12月 (0)	1月 (14)	2月 (24)	3月 (17)	計 (209)
体験学習	浮世絵多色刷り		131	741	204			233	554				0	1,863
	石うす体験												0	0
	くらしと明かり			115			58	1,103	667		46	78	0	2,067
	火おこし体験												0	0
	その他												0	0
展示学習	れきしたんけん							901	822		46	78	0	1,847
	はにわ・古墳探検		131	570	204			190	385				0	1,480
	昔の道具調べ						58	1,045	757			78	0	1,938
計		0	262	1,426	408	0	116	3,472	3,185	0	92	234	0	9,195
累 計		0	262	1,688	2,096	2,096	2,212	5,684	8,869	8,869	8,961	9,195	9,195	

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9月からプログラムを実施。また、火起こし体験・石うす体験・その他体験メニューは中止した。

エ 団体利用者数

月 (開館日数)		4月 (26)	5月 (9)	6月 (14)	7月 (17)	8月 (27)	9月 (16)	10月 (27)	11月 (18)	12月 (0)	1月 (14)	2月 (24)	3月 (17)	計 (209)
一 般	団体数	1	1		1			2	6		1		2	14
	人数	9	13		18			30	92		8		43	213
高・大生	団体数			1										1
	人数			10										10
中学 生	団体数							1	1					2
	人数							18	10					28
小学 生	団体数		2	16	3		1	28	18		1	1		70
	人数		131	926	218		62	1,714	1,405		50	82		4,588
幼 年	団体数							1			4	4	2	11
	人数							24			119	91	60	294
身 障	団体数		1		2	4						3	3	13
	人数		13		39	69						34	50	205
社教 等	団体数	1			2	1		1	1				1	7
	人数	16			90	25		15	9				14	169
計	団体数	2	4	17	8	5	1	33	26	0	6	8	8	118
	人数	25	157	936	365	94	62	1,801	1,516	0	177	207	167	5,507
招 待 者		169	112	19	99	187	81	1,389	597	0	117	237	104	3,111

オ 館外開催学校団体等行事参加者数

月 (団体数)	4月 (-)	5月 (-)	6月 (-)	7月 (-)	8月 (-)	9月 (-)	10月 (-)	11月 (4)	12月 (12)	1月 (-)	2月 (-)	3月 (-)	計 (11)
出張！ 浮世絵体験								250	679				929

カ 観覧者数

タイトル	開催期間 (日数)	有料観覧者	無料観覧者	合計
春の特別展示 新・すばらしき群馬のはにわ	4/1～5/9(35)	3,559	1,643	5,202
第103回企画展 古墳大国群馬へのあゆみ	7/17～9/5(45)	4,378	3,779	8,157
第104回企画展 発掘された日本列島 2021	10/9～11/21(38)	3,631	6,276	9,907
第105回企画展 アイヌの暮らし ー時代・地域・さまざまな姿ー	1/15～3/6(44)	6,729	4,488	11,217
常設展	(209)	5,713	3,587	9,300

(2) 資料の特別観覧

下記の資料 3 4 件について特別観覧の申請があり承認した。

No.	資料名称	考古	歴史	美工	民俗	その他	計
1	「高山社・養業学校関係資料」 9 1 点		91				91
2	松本宏洞 筆 「漁夫図」「波濤図」「飛泉図」 3 点			3			3
3	「新刻養蚕之図」 1 点		1				1
4	「高山社・養業学校関係資料」 2 9 点		29				29
5	姥山古墳出土「銅製鈴付轡鏡板」、高崎市保渡田町出土「鈴」 3 点、南橋村地区古墳副葬品一括「三鈴杏葉」、洞山古墳出土「三鈴杏葉」 2 点、八幡原遺跡出土「六鈴鏡」、保戸田八幡塚古墳出土「双脚の人物埴輪（脚結に鈴）」 2 点、塚廻り 3 号墳出土「杯を持ち椅子に腰かける巫女」、塚廻り 4 号墳出土「馬形埴輪（胸繁鈴・雲珠に五鈴杏葉）」「膝まづく盛装の男子」、剛志天神山古墳出土「犬形埴輪（レプリカ）」、邑楽郡大泉町古海出土「埴輪女子（レプリカ）」、綿貫観音山古墳出土「金銅製鈴付大帯（レプリカ）」 計 1 6 点	16					16
6	「埴輪盛装男子」 1 点	1					1
7	腰巻出土「磨製石斧・土器」 8 点	8					8
8	山王廃寺出土「緑釉水注」「緑釉小型碗」「緑釉中型碗」「緑釉大型碗」「緑釉段皿」 2 点、「緑釉平皿」 2 点 計 8 点	8					8
9	「上野国碓氷郡上磯部村中野谷村就野論裁断之覚」 1 点		1				1
10	伝南橋村出土「単鳳環頭大刀」、伝原市遺跡出土「圭頭大刀」 計 2 点	2					2
11	「浅間焼吾妻川利根川泥押絵図」画像データ 1 点		1				1
12	上原古墳出土「巖手刀」、「丸靱」 3 点、「巡方」 3 点、「刀子」 2 点、「唐三彩陶枕」 計 1 0 点	10					10
13	「明徳 4 年銘名号板碑」 1 点、「糸井古墓出土板碑」 1 2 点 計 1 3 点	13					13
14	鶴山古墳出土「石製模造品」 3 点、舞台遺跡 1 号古墳出土「石製模造品」 1 7 点、「土師器」 6 点、「円筒埴輪」 4 点、剣崎天神山古墳出土「石製模造品」 1 7 点 計 5 2 点	52					52
15	(常設展示撮影)					1	1
16	新町宿三俣本家 A 群のうち「三俣家家系図」 1 点		1				1
17	上丹生屋敷遺跡出土「鉄鉋」 1 点	1					1

18	ブルーノ・タウト「木製小箆笥」、「木製目在本立て」、「裁縫箱」、「竹製傘取っ手」、「卵殻螺鈿丸形パウダーケース」、「卵殻螺鈿角形シガレットケース」、デッサン類8点 計14点			14			14
19	「土岐文書」 一括		一括				一括
20	「石製模造品」 一式	71					71
21	柏倉芳見沢遺跡出土旧石器時代遺物・瀧ノ口遺跡出土旧石器時代遺物 一式	一括					一括
22	八束脛洞窟遺跡出土 「穿孔人歯骨」 一式	19					19
23	高山社・蚕業学校関係資料「高山社統計表地図(S-4-66)」「明治廿九年高山社授業員派遣地一覧表附録高山社伝習所生徒名簿(T-4-1-30)」 計2点		2				2
24	椿椿山「蔬菜図」「島英琳宛 椿椿山書館・蘭竹図」 計2点			2			2
25	綿貫観音山古墳出土「獣帯鏡」、古海原前1号墳出土「画文帯神獣鏡」、川井稲荷山古墳出土「三角縁神獣鏡」 計3点	3					3
26	『赤城根源記』『赤城山大明神御本地』 計2点		2				2
27	綿貫観音山古墳出土 「銅水瓶」 1点	1					1
28	北村明道「断弦之図」「紫式部」、磯部草丘「奔端」、北村明道・磯部草丘ほか「森村西三上京記念寄せ書き」 計4点			4			4
29	舞台1号墳出土 「家形埴輪」 1点	1					1
30	山王廃寺出土「緑釉水注」1点、「緑釉碗」2点 計3点	3					3
31	「脇差 上州前橋住源吉信作」、「刀 秋弘」、「刀 中山一貫斎義弘」、「刀 藤枝太郎英義作」、「薙刀 武英ヨシ」 計5点			5			5
32	島霞谷関係資料 計12点			12			12
33	『赤城根源記』『赤城山大明神御本地』 計2点		2				2
34	「妙安寺文書」 一括		一括				一括

(3) 資料の貸出許可

下記の資料 88 件について借用の申請があり承認した。

	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真
1	雷電神社跡古墳出土「馬形埴輪」画像データ1点		1									1	
2	綿貫観音山古墳出土「銀錯龍文振り環頭大刀」「金銅半球形飾金具」「金銅鈴付大帯」「銅水瓶」、埴輪「振り分け髪の男子」「鎌も持つ男子」画像データ6点		6									6	
3	上野塚廻り古墳群出土 埴輪「椅子に腰掛ける女子（第三号墳出土）」、綿貫観音山古墳出土品 埴輪「あぐら男子・正座女子・三人女子、皮袋女子」「飾り馬」「あぐら男子」「振分髪男子」「武人男子」、「金銅鈴付大帯」「鉄冑」画像データ8点		8									8	
4	綿貫観音山古墳出土「金銅歩揺付雲珠・辻金具」画像データ1点		1									1	
5	綿貫観音山古墳出土「副葬品集合」「埴輪群像」画像データ2点		2									2	
6	「三光院十一面観音像複製」、下河田検地帳複製 計2点			1		1						2	
7	綿貫観音山古墳出土 埴輪「あぐらを組む男子、正座する女子、皮袋を捧げ持つ女子、三人女子」画像データ1点		1									1	
8	綿貫観音山古墳出土 集合画像データ1点		1									1	
9	土岐文書のうち「観心二年正月三十日足利尊氏書状 明智頼重・土岐孫二郎宛」画像データ1点			1								1	
10	綿貫観音山古墳出土 埴輪「三人童女」画像データ1点		1									1	
11	椿椿山「蔬菜図」、金井烏洲「藤橋龍渡図」「山水図」「四君子帖」「槐山清爽図」「書画扇面」「淹に松月図」、松本宏洞「雲山訪隠土図」「波濤図」「三顧草廬図」「漁夫図」「溪樵問答図」「飛泉図」、谷文晁「孔雀図」					14	14					14	14
12	「老農夜話」画像データ1点			1								1	
13	上野塚廻り古墳群出土 埴輪「椅子に腰掛ける女子（第三号墳出土）」「ひざまづく男子（第四号墳出土）」、雷電神社跡古墳出土「武装した男が馬に乗る埴輪」画像データ3点		3									3	
14	伝群馬県出土 馬形埴輪 画像データ1点		1									1	
15	綿貫観音山古墳出土 埴輪「あぐらを組む男子」「正座をする女子」「皮袋を捧げ持つ女子」「三人女子」「振り分け髪の男子」、剛志天神山古墳出土 埴輪「鶏」、上野塚廻り古墳群出土品のうち 埴輪「ひざまづく男子（第四号墳出土）」「椅子に腰掛ける女子（第三号墳出土）」、本館外観写真、内観写真、ミュージアムショップ写真 画像データ11点		8							3		11	
16	上野リチ・リックス「竹製二連籠（竹製果物籠）」「竹製楕円形取っ手付き籠（サンドイッチトレイ）」「竹製三叉フォーク」「竹製トング」「こけし 頭で荷を運ぶ女性」「こけし 子どもを食ぶる女性」上野伊三郎「黒漆塗り無地小物入れ」「朱漆塗り螺旋様小物入れ」ブルーノ・タウト「デッサン：ベルト」「木製ベルト」「デッサン：ピクニックバスケット」「ヤーンバスケット」「デッサン：ボタン」「竹製ボタン」「デッサン：卵殻モザイク製作指示」「デッサン：白粉入れ詳細図」「モザイク丸形パウダーケース」「モザイク角形シガレット入れ」					18	18					18	18
17	綿貫観音山古墳出土「須臾器」「銅水瓶」「金銅心葉形杏葉」画像データ3点		3									3	
18	「銅鍔金経筒」1点	1	1									1	
19	「長楽寺永祿日記」三冊、「長尾顕長名字状」「長尾景長感状」(同表装) 2点			4	4							4	4
20	藤岡市三本木 中学校裏古墳北東側出土資料 (G436-1~4)	4	1									4	1
21	綿貫観音山古墳出土 埴輪「振り分け髪の男子」「人物群像」「金銀装頭椎大刀」画像データ3点		3									3	
22	岸浪百草居「牡丹」画像データ1点						1					1	
23	復刻版画 木曾海道六十九次「新町」「春賀野」「高崎」「板鼻」「案中」「松井田」「坂本」画像データ7点						7					7	
24	綿貫観音山古墳出土「銅水瓶」画像データ1点		1									1	
25	上野塚廻り古墳出土「埴輪群像（第四号墳出土）」画像データ1点		1									1	
26	鶴山古墳出土「石製模造品」8点、舞台遺跡1号古墳出土「石製模造品」17点・「土師器」6点・「円筒埴輪」4点、剣崎天神山古墳出土「石製模造品」17点、古海原前1号古墳出土「画文帯神獸鏡」1点 計53点	53	53									53	53
27	綿貫観音山古墳出土「埴輪群像」「金銅鈴付大帯」画像データ2点		2									2	
28	「中野谷松原遺跡模型画像」3点、「神保橋松城模型画像」2点、「倉賀野宿河岸模型画像」1点、「富岡製糸場模型画像」2点 画像データ8点									8		8	
29	綿貫観音山古墳出土「銅水瓶」「金銅心葉形杏葉」画像データ2点		2									2	
30	藤原宮出土「上毛野国車評桃井里大賢帖 木簡レプリカ」画像データ1点		1									1	
31	吉田初三郎作「前橋市鳥瞰図」画像データ1点			1								1	
32	桐生善七家蔵物取付図 画像データ1点			1								1	
33	群馬県経社（山王庵寺）出土「緑釉陶器」8点	8	8									8	8
34	千網谷戸遺跡出土「耳飾」一式 画像データ10点		10									10	
35	高崎市保渡田町出土「鈴」1点、前橋市旧南橋村出土（南橋村地区 古墳副葬品一括）「三鈴杏葉」1点、伊勢崎市赤堀町洞山古墳出土「三鈴杏葉」2点、高崎市八幡原町 八幡原遺跡出土「六鈴鏡」1点、高崎市保渡田町 保渡田八幡塚古墳出土「双脚の人物埴輪（脚結に鈴）」2点、太田市塚廻り3号墳出土「杯を持ち椅子に腰かける巫女」1点、太田市塚廻り4号墳出土「馬形埴輪（胸繫鈴・雲珠に五鈴杏葉）」1点・「膝まづく盛装の男子」1点、佐波郡境町剛志天神山古墳出土「犬形埴輪（レプリカ）」1点、邑楽群大泉町古海出土「埴輪女子（レプリカ）」1点、高崎市綿貫町綿貫観音山古墳出土品「金銅鈴付大帯（レプリカ）」1点	13										13	
36	伊勢崎市赤堀町洞山古墳出土「三鈴杏葉」1点、太田市塚廻り3号墳出土「杯を持ち椅子に腰かける巫女」1点、太田市塚廻り4号墳出土「馬形埴輪（胸繫鈴・雲珠に五鈴杏葉）」1点・「膝まづく盛装の男子」1点、綿貫観音山古墳出土品「盛装する振り分け髪の男子」1点・「胡坐を組み合掌する男子」1点・「金銅花弁形鈴付雲珠」1点		7									7	
37	上原古墳出土「蔵手刀」1点・「丸鞘」3点・「巡方」3点・「刀子」2点、多田山12号墳出土 唐三彩陶枕 画像データ10点		10									10	
38	「長楽寺永祿日記」画像データ1点			1								1	
39	綿貫観音山古墳出土「埴輪群像」画像データ1点		1									1	
40	高山社関係資料「ガラス乾板」(S-8-177-1.2)画像データ1点			1								1	
41	金井東東遺跡「甲を着た古墳人複顔像」「首飾りの古墳人複顔像」画像データ2点		2									2	

[illegible]

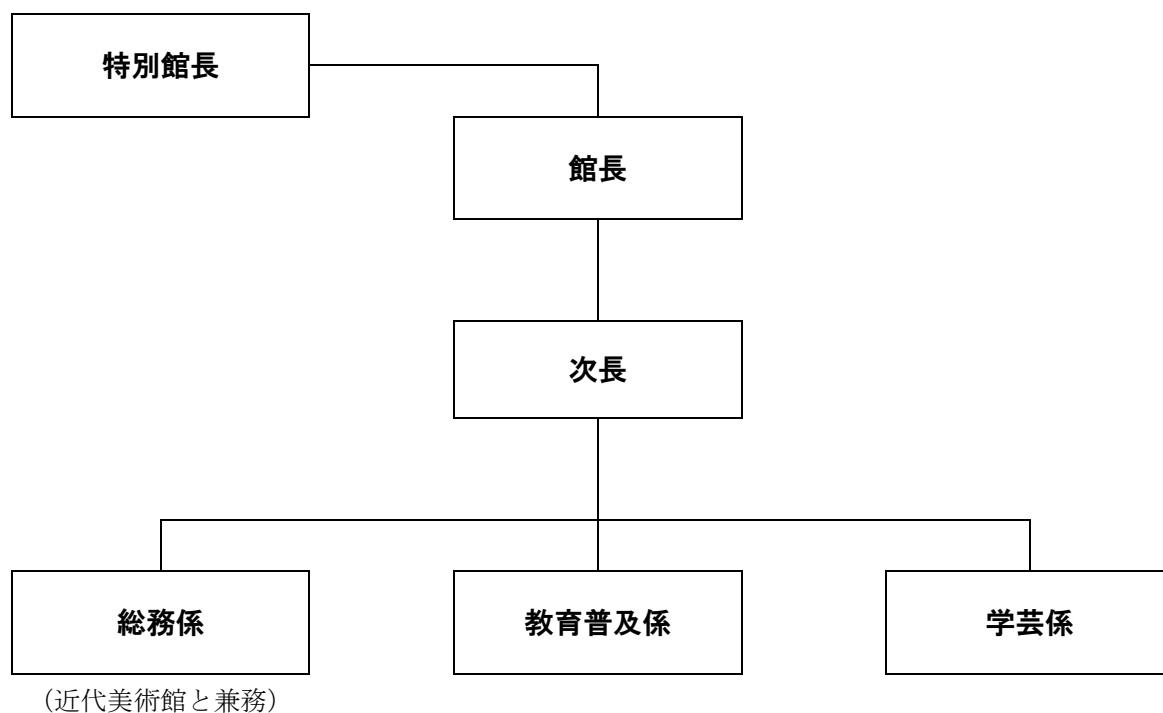
(4) 資料の掲載許可

下記の資料 10 件について掲載許可の申請があり承認した。

No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		写真	他	写真	他	写真	他	写真	他	写真	他	写真	他
1	「伝 酒井忠清座像」 画像データ 1 点			1								1	
2	「島霞谷像」 3 点、「筆を持つ島隆像」、「煙管を持つ島隆像」、「カボチャを担いで笑う島霞谷像」、「コウモリをさす島隆像」、「番傘を持つ島隆像」、「笑う髻髪の島霞谷像」、「階段に座る島隆像」、「大納言徳川志栄と科学技師ハタラマ」、「鮎」、「猫」、「頭蓋骨」、「女性像」、「湿板カメラ」、「湿板写真現像器具 薬ビン」、「舎密秘法」、「島隆写真館開業広告」、「水引きを持つ女性像」、「バラと扇子を持つ女性像」、「英語学習帳」、「鉛合金製活字」、「篠笛」、「伊香保入湯諸費日記」、「和歌雑題集」、「行李」 画像データ 27 点			27								27	
3	綿貫観音山古墳出土 「獣帯鏡」 「金銀装頭椎大刀」 「玄室内遺物出土状況図」 画像データ 3 点	2	1									2	1
4	「ナポレオン像下絵」 「徳川慶喜像」 「子供灰神楽図」 「 菱紋銀象眼拵」 「横笛」 「月琴」 画像データ 6 点					6						6	
5	ブルーノ・タウト「竹製電気スタンド」 「バラソル柄」 画像データ 3 点					2						2	
6	「白井城絵図」 （長尾輝景関係文書）			1								1	
7	「倉賀野宿河岸模型画像」 2 点、「高瀬舟模型」 画像データ 3 点			3									
8	「大坂夏の陣図屏風 解説図」 画像データ 1 点			1								1	
9	「浅間焼吾妻川利根川泥押絵図」 画像データ 1 点			1								1	
10	綿貫観音山古墳出土 「金銀装頭椎大刀」 画像データ 1 点	1										1	

Ⅱ 組織及び運営(令和3年4月1日現在)

1 運営組織



2 歳出・歳入決算概要

(1) 歴史博物館費

単位：千円

事業名	決算額	内 訳			左のうち特定財源	
		事項名	内 容	金額	金額	内 訳
歴史博物館運営	73,733	会計年度任用職員経費	特別館長、会計年度任用職員人件費	30,186	78	雇用保険料個人負担分
		館管理運営	施設設備保守、光熱水費他事務経費	43,547	145	建物使用料
博物展示	42,378	常設展示	展示制作・写真撮影	5,856	2,415	図録販売収入
		企画展示	展示制作・図録作成	36,522	11,625	歴博入館料
教育普及活動	3,041	学校教育連携推進	学校向け展示見学用資料作成、学習プログラム実施	1,896		
		れきはくアカデミー	一般向け体験学習実施、博物館広報	1,145		
調査研究	4,567	資料収集管理	資料収集、収蔵品管理、資料情報システムの運用	2,429	43	紀要販売収入
		調査研究活動	資料調査、研究紀要作成	1,481		
		情報システム整備	収蔵資料管理・公開システムの構築	657		
合計	123,719				14,306	

群馬県立歴史博物館 年報
第43号（令和3年度版）

令和5年 3月23日発行

発行：群馬県立歴史博物館

〒370-1293 高崎市綿貫町992-1

TEL（027）346-5522

FAX（027）346-5534